

京都府産業廃棄物減量・リサイクル推進ネットワーク協議会

議事要旨

1 日 時 平成26年3月18日（火） 午後2時30分～4時30分

2 場 所 京都工業会館2階 第1会議室

3 議 事

- （一社）京都府産業廃棄物3R支援センターの平成25年度事業報告について
- （一社）京都府産業廃棄物3R支援センターの平成26年度事業計画について

4 主な意見等

- 3R支援センターの発信情報は、特に中小企業にとって有益なものが多く、他団体の発信媒体（メルマガ等）とも連携しながら、今後も情報発信力を強化してもらいたい。
- 排出事業者による処理業者の訪問は、排出事業者・処理業者のお互いのレベルアップのために有益なものであり、3R支援センターでも処理業者訪問を促すような取組みや、処理業者訪問の際のノウハウの情報提供等を検討されたい。
- 本年度から始まった京都市の「産廃処理・3R等優良事業場認定制度」において、取り組みが十分でない事業者には3R支援センター事業を紹介する等、連携して事業を進めてもらいたい。
- 環境研究総合推進費（環境省補助金事業）に廃棄物分野の枠があり、過去に採択された研究課題や実施事業者が公表されている。各大学で取り組まれている研究内容や、各事業者の抱える課題等が分かるので、補助金事業等において大学と企業のマッチングを行う際に役立つのではないかと。
- 産業廃棄物税の税収について、制度開始当初からしばらく減少傾向が続いていたが、ここ数年は横ばい推移。景気動向や経済活動などの外的影響もあるため、もう少し長い目で注視しながら、さらなる対策の要否を検討すること。